

平成27年3月期
第2四半期決算説明資料

スルガ銀行株式会社

【 目 次 】

I	平成27年3月期第2四半期決算の概要		
	1. 損益の状況	単	1
	2. 主要勘定の状況	単	3
	3. 経営指標の状況	単	5
	4. 自己資本の状況	単	6
	5. 有価証券の評価差額の状況	単	7
	6. 平成27年3月期の業績予想	単・連	
	7. 資産の状況	単	8
	8. 与信費用の状況	単	9
	9. 配当の状況	単	10
II	平成27年3月期第2四半期決算の状況		
	1. 損益状況	単	11
		連	12
	2. 業務純益	単	
	3. 利ざや	単	13
	4. ROA・ROE	単	
	5. 有価証券関係損益	単	
	6. 自己資本比率	単・連	14
III	貸出金等の状況		
	資産内容の開示における各種基準の比較	単	15
	1. リスク管理債権の状況	単・連	16
	2. リスク管理債権に対する引当率	単・連	17
	3. 貸倒引当金等の状況	単・連	
	4. 金融再生法開示債権	単	
	5. 金融再生法開示債権の保全状況	単	
	6. 業種別貸出状況等		
	①業種別貸出金	単	18
	②業種別リスク管理債権	単	
	③個人ローン残高	単	19
	④中小企業等貸出比率	単	
	7. 国別貸出状況等		
	①特定海外債権残高	単	
	②アジア向け貸出金	単	
	8. 預金、貸出金の残高	単	
	9. 店舗数	単	
IV	時価のある有価証券の評価差額		
	1. 評価差額	単・連	20
V	退職給付関連		
	1. 退職給付費用に関する事項	単・連	21

(注)表中の増減比較値は、表上の計数(単位:百万円、%)で比較した値です。

I. 平成27年3月期第2四半期決算の概要

1. 損益の状況【単体】

(単位：百万円)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
業務粗利益	47,915	3,230	44,685
資金利益	48,741	3,398	45,343
役務取引等利益	△960	△564	△396
その他業務利益(注1)	46	△5	51
コア業務粗利益	47,827	2,828	44,999
経費 △	23,268	2,207	21,061
コア業務純益(注2)	24,559	621	23,938
国債等債券損益	87	400	△313
一般貸倒引当金繰入額 △(注3)	—	—	—
業務純益	24,646	1,022	23,624
不良債権処理額 △	1,754	△704	2,458
貸倒引当金戻入益(注3)	1,326	399	927
償却債権取立益	239	△91	330
株式等損益	△2	△46	44
経常利益	23,860	1,766	22,094
固定資産処分損益	△626	△574	△52
中間純利益	14,980	1,156	13,824
与信費用	428	△1,102	1,530
実質与信費用(注4)	188	△1,012	1,200

(注1) 除く国債等債券損益

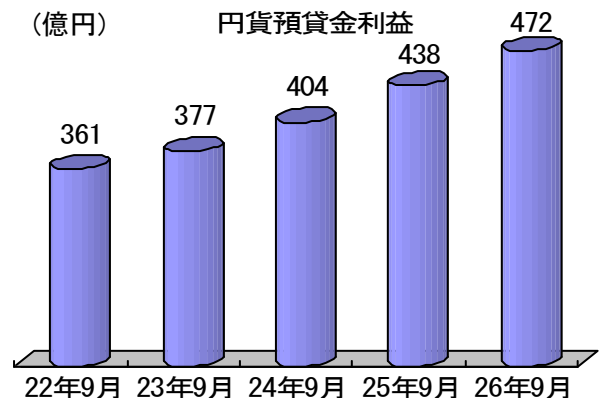
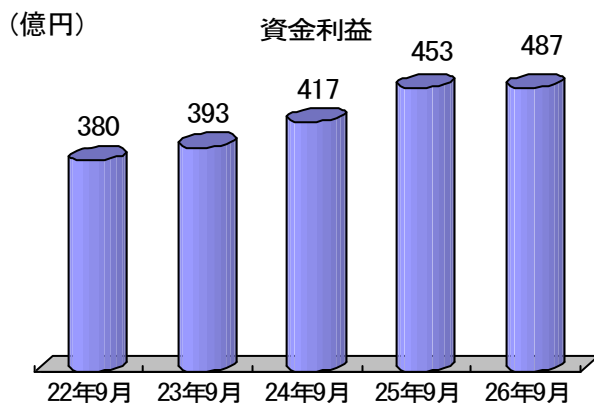
(注2) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

(注3) 25年9月期ならびに26年9月期において、一般貸倒引当金の取崩額が個別貸倒引当金繰入額を上回り、貸倒引当金が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(注4) 実質与信費用＝与信費用(一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益)－償却債権取立益

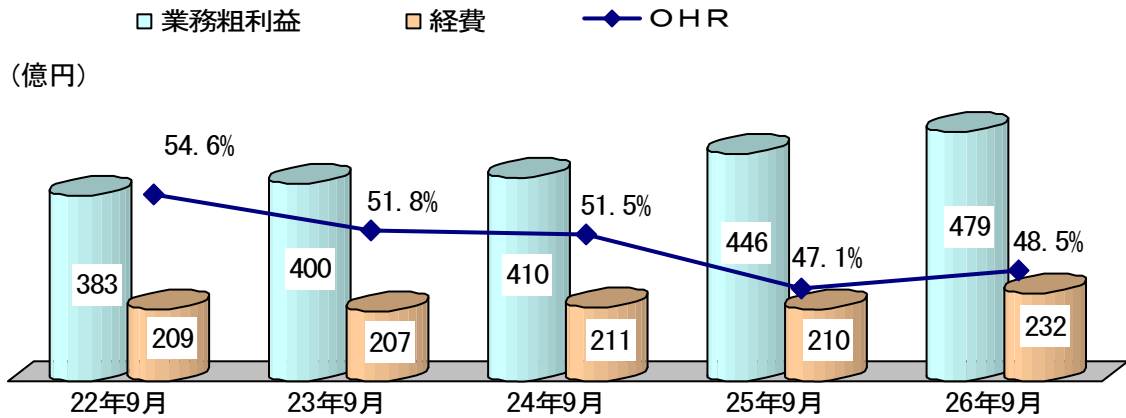
(1) 業務粗利益： 479億円

- ・ 資金利益は、貸出金利息の増加が寄与し、前年同期比33億円増加。
円貨預貸金利益は、前年同期比34億円増加。
- ・ コア業務粗利益は、資金利益の増加(33億円)を主因に前年同期比28億円増加。
- ・ 業務粗利益は、前年同期比32億円増加。



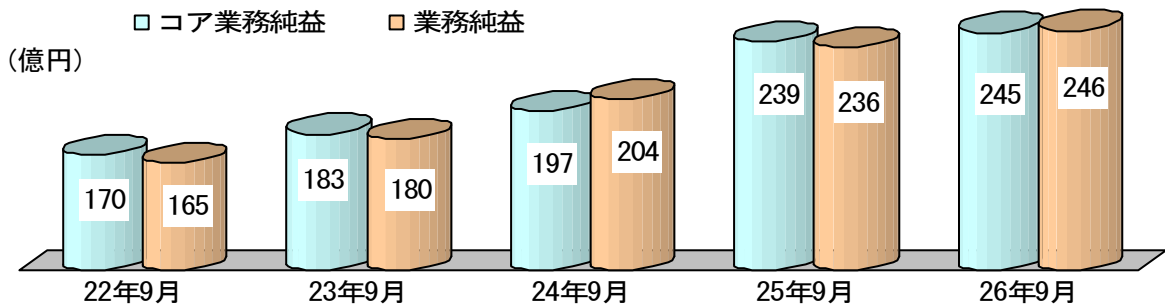
(2) 経費 : OHR 48.5%

- ・経費は、前年同期比22億円の増加。
- ・OHRは、経費の増加(22億円)により前年同期比1.4%上昇し、48.5%。
($OHR(\%) = \text{経費} \div \text{業務粗利益} \times 100$)



(3) コア業務純益 : 245億円・業務純益 : 246億円

- ・コア業務純益は、資金利益の増加等により、前年同期比6億円増加。
- ・業務純益は、国債等債券損益の改善により、前年同期比10億円増加。



(4) 経常利益 : 238億円

- ・経常利益は、業務純益の増加(10億円)や不良債権処理額の減少(7億円)等により、前年同期比17億円増加。

(5) 中間純利益 : 149億円

- ・中間純利益は、経常利益の増加(17億円)等により、前年同期比11億円増加。

(6) 実質与信費用 : 1億円

- ・与信費用は、貸倒引当金戻入益の増加(3億円)や、不良債権処理額の減少(7億円)により、前年同期比11億円の減少。
- ・実質与信費用は、与信費用(4億円)から償却債権取立益(2億円)を控除した1億円。

2. 主要勘定の状況【単体】

(1) 貸出金

- ・貸出金期末残高は、個人ローンの増加を主因に、前年同期末比1,476億円(5.2%)増加。
- ・個人ローンは、フリーローンを中心に、上期に1,993億円実行し、期末残高は前年同期末比1,508億円の増加。
- ・貸出金利回り(国内)は、前年同期比0.11%上昇し、3.46%。
- ・住宅ローン、フリーローン等の個人ローンの延滞率・毀損率は低い水準を維持。

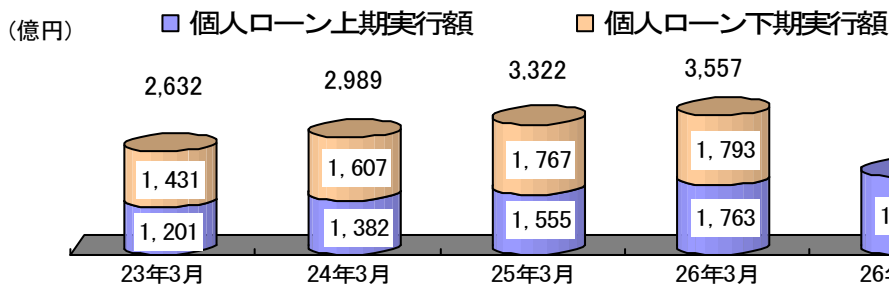
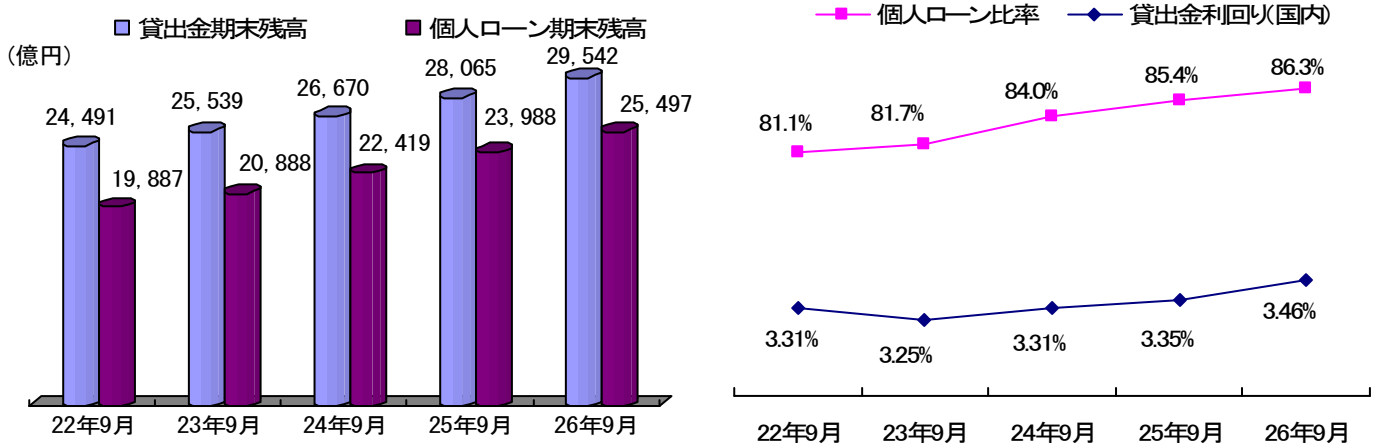
(単位：百万円)

	26年9月		26年3月		25年9月
		26年3月比	25年9月比		
貸出金(期末残高)	2,954,255	74,170	147,666	2,880,085	2,806,589
個人ローン	2,549,748	79,226	150,872	2,470,522	2,398,876
住宅ローン	1,965,206	8,755	23,144	1,956,451	1,942,062
貸出金(期中平均残高)	2,846,243	93,483	127,047	2,752,760	2,719,196
預貸率(末残ベース)	76.8%	1.4%	△1.7%	75.4%	78.5%
預貸率(平残ベース)	75.1%	△2.2%	△2.1%	77.3%	77.2%

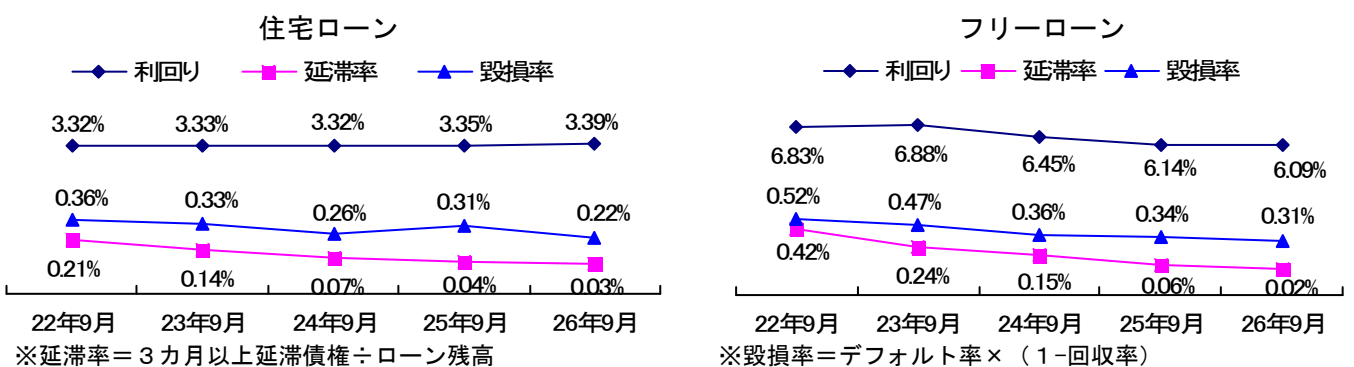
(参考)

(単位：億円)

ゆうちょ銀行代理事業 取扱い分	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
住宅ローン実行額(期中累計)	156	35	121



個人ローンの延滞率・毀損率の状況

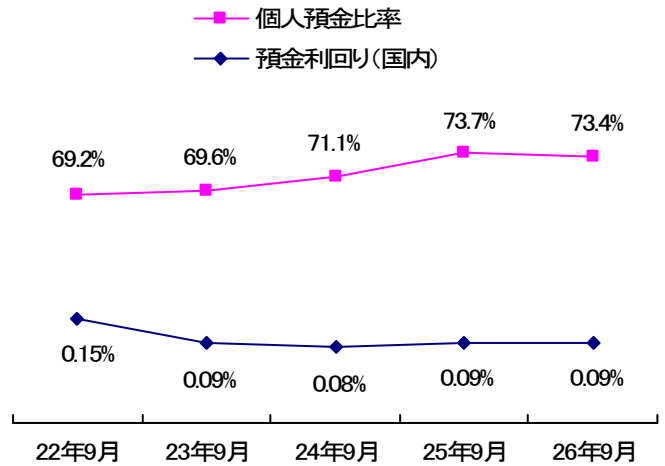
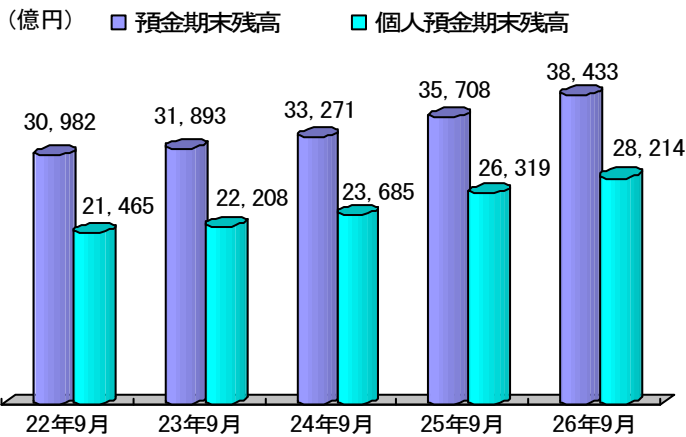


(2) 預金

- ・預金期末残高は、前年同期末比2,724億円(7.6%)増加。
- ・個人預金期末残高は、前年同期末比1,894億円(7.1%)増加。
- ・預金利回り(国内)は、0.09%。

(単位:百万円)

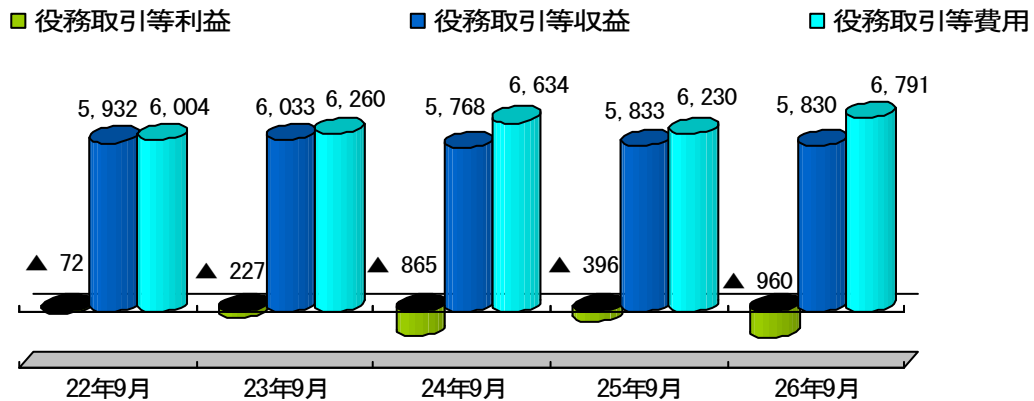
	26年9月		26年3月	25年9月
	26年3月比	25年9月比		
預金(期末残高)	3,843,347	26,974	3,816,373	3,570,862
個人預金	2,821,402	94,215	2,727,187	2,631,976
預金(期中平均残高)	3,789,389	229,163	3,560,226	3,518,307



(3) 役務取引等利益

- ・役務取引等利益は、役務取引等費用の増加(5億円)等により、前年同期比5億円の減少。

(百万円)



(4) 個人預り資産

- ・個人預り資産期末残高は、前年同期末比1.695億円増加。
- ・投資性商品比率（個人預り資産残高全体に占める割合）は、前年同期末比1.2%低下の8.3%。

(単位：百万円)

	26年9月末			26年3月末	25年9月末
		26年3月末比	25年9月末比		
個人預り資産残高	3,068,926	88,727	169,569	2,980,199	2,899,357
円貨預金	2,812,747	94,814	190,568	2,717,933	2,622,179
投資性商品	256,179	△6,087	△20,999	262,266	277,178
外貨預金	8,655	△599	△1,141	9,254	9,796
国債等保護預り	27,124	△3,197	△7,174	30,321	34,298
投資信託	125,491	7,108	6,684	118,383	118,807
個人年金保険	81,389	△10,481	△21,425	91,870	102,814
一時払終身保険	13,517	1,082	2,057	12,435	11,460
投資性商品比率	8.3%	△0.5%	△1.2%	8.8%	9.5%

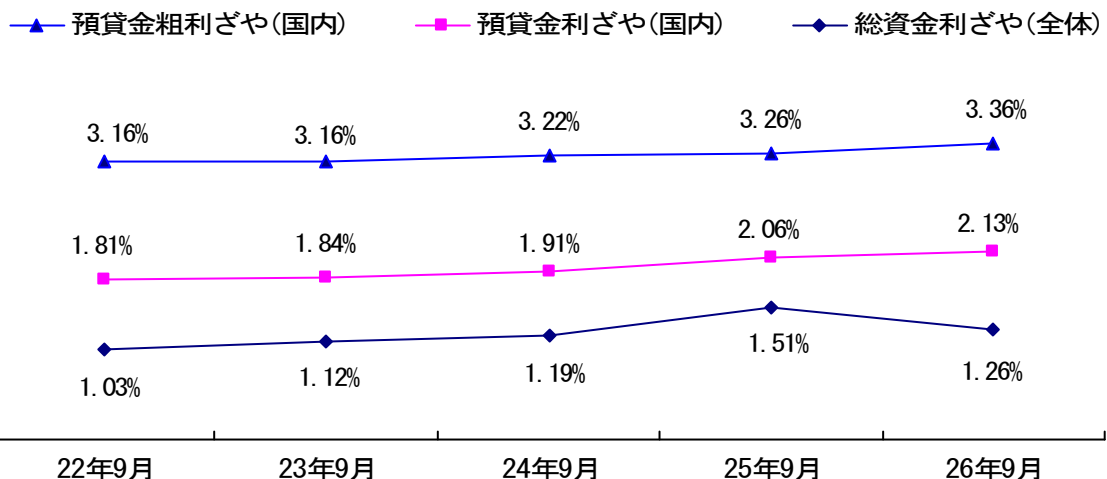
3. 経営指標の状況【単体】

(1) 利ざや

- ・預貸金利ざや（国内）は、貸出金利回りの上昇が寄与し2.13%。
- ・総資金利ざや（全体）は、資金運用利回りの低下ならびに資金調達原価の上昇により、前年同期比0.25%低下し1.26%。

(単位：%)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
預貸金粗利ざや（国内）	3.36	0.10	3.26
預貸金利ざや（国内）	2.13	0.07	2.06
総資金利ざや（全体）	1.26	△0.25	1.51



4. 自己資本の状況【単体】

・自己資本比率は、前年同期末比0.36%上昇し、11.53%。

平成26年3月末より新基準にて算出（経過措置を適用）。

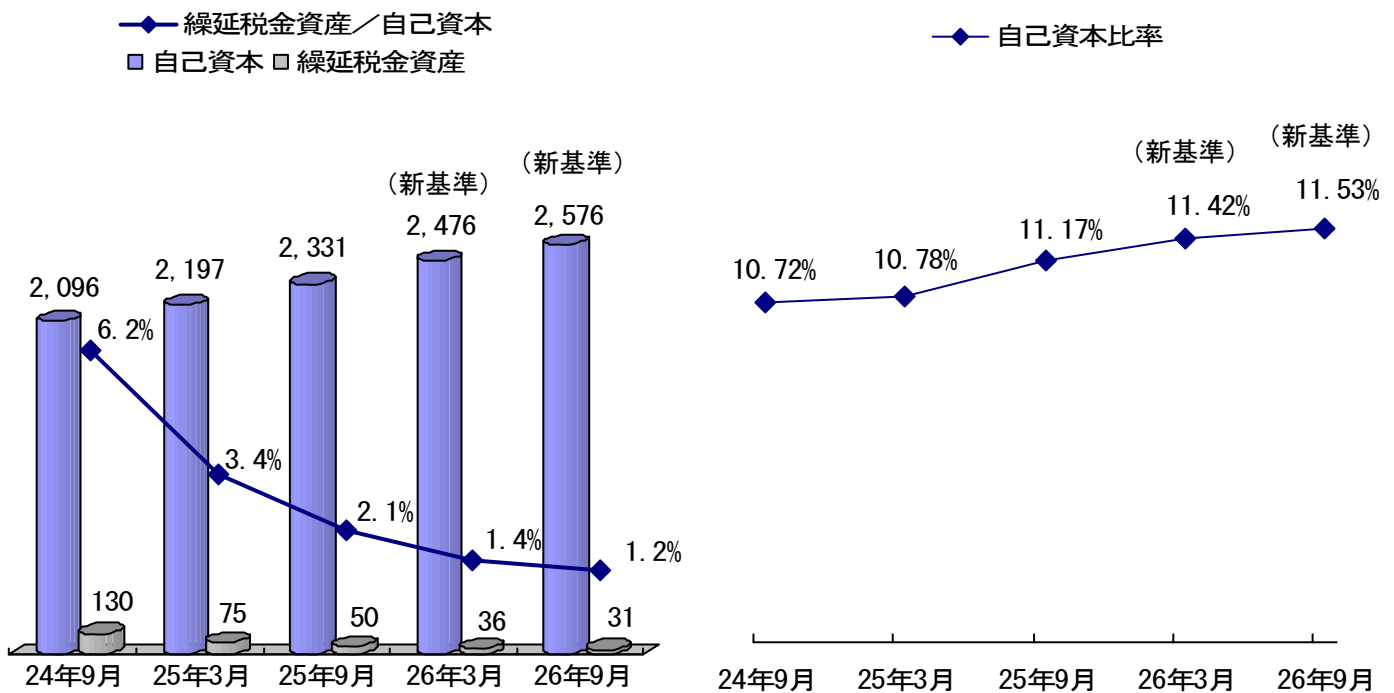
新基準……バーゼルⅢを踏まえた国内基準

- (1)信用リスク : 標準的手法
 (2)オペレーショナルリスク : 基礎的手法
 (3)CVAリスク : 簡便的リスク測定方式

(単位：%)

	26年9月末 (新基準)			26年3月末 (新基準)	25年9月末 (旧基準)
	26年3月末比	25年9月末比			
自己資本比率(国内基準)	11.53	0.11	0.36	11.42	11.17

(億円)



5. 有価証券の評価差額の状況【単体】

・有価証券の評価差額は、株式の評価損益の改善等を主因に前年同期末比30億円増加。

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比		26年3月末	25年9月末
		26年3月末比	25年9月末比		
その他有価証券	19,388	3,452	3,130	15,936	16,258
株式	16,465	2,736	2,327	13,729	14,138
債券	44	△3	△21	47	65
その他	2,878	719	824	2,159	2,054

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比		26年3月末	25年9月末
		26年3月末比	25年9月末比		
満期保有目的(含み損益)	△342	△40	△50	△302	△292

6. 平成27年3月期の業績予想

【単体】

(単位：百万円)

	27年3月期 通期(予想)
経常収益	116,000
業務純益	48,500
経常利益	45,500
当期純利益	28,500
実質与信費用	1,000

【連結】

(単位：百万円)

	27年3月期 通期(予想)
経常収益	124,000
経常利益	46,000
当期純利益	28,600

(注)業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

7. 資産の状況【単体】

(1) 金融再生法開示債権

・開示債権額は前年同期末比56億円減少。開示債権比率は前年同期末比0.29%低下し、1.61%。

〔残高推移〕

(単位:百万円、%)

	26年9月末			26年3月末		25年9月末	
		26年3月末比	25年9月末比				
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,518	△714	△1,939	8,232		9,457	
危険債権	19,910	△2,068	△3,257	21,978		23,167	
要管理債権	20,642	△270	△445	20,912		21,087	
合計 A	48,071	△3,051	△5,641	51,122		53,712	
総与信残高 B	2,974,229	74,038	148,827	2,900,191		2,825,402	
総与信残高比 A/B	1.61	△0.15	△0.29	1.76		1.90	

〔保全状況〕

(単位:百万円、%)

		破産更生債権等	危険債権	要管理債権	債権額合計	
						25年9月末比
金融再生法開示債権額 A		7,518	19,910	20,642	48,071	△5,641
保全額合計 (C+D) B		7,518	17,873	14,228	39,620	△4,864
担保保証等による保全額 C		4,891	15,904	11,036	31,832	△3,790
貸倒引当金による引当額 D		2,626	1,969	3,192	7,788	△1,074
保全率 (B/A)		100.00	89.76	68.92	82.41	△0.41
担保保証等で保全されていない部分 (A-C) E		2,626	4,006	9,606	16,239	△1,851
上記に対する引当率(D/E)		100.00	49.15	33.22	47.95	△1.04

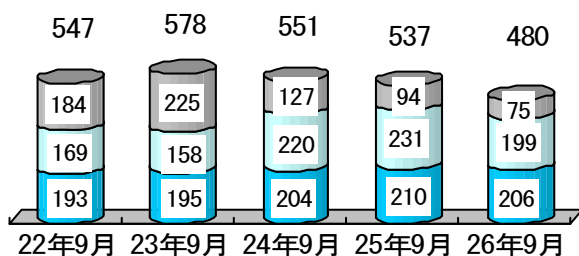
(参考) 26年3月末

担保保証等で保全されていない部分	2,595	4,445	9,781	16,821
上記に対する引当率	100.00	56.39	30.01	47.78

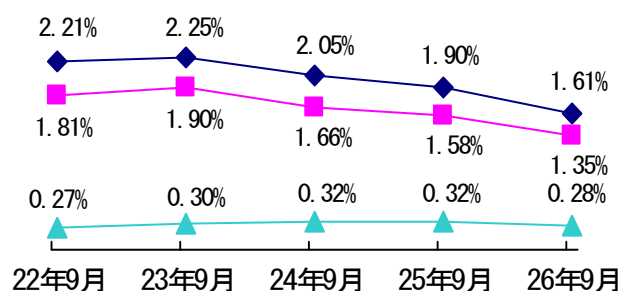
- (注)1. 破産更生債権等(自己査定上の破綻先・実質破綻先)の担保保証等により保全されていないIV分類債権は部分直接償却を実施しています。なお、今後再生が見込まれる等回収不能額の確定しない先に対しては個別貸倒引当金を計上しております。
2. 危険債権(自己査定上の破綻懸念先)については、過去3算定期間の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失率を算出し、担保保証等により保全されていないⅢ分類債権に予想損失率を乗じて個別貸倒引当金に計上しております。
3. 要管理(先)債権については、過去3算定期間の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失率を算出し、対象全債権(I・Ⅱ分類)に予想損失率を乗じて一般貸倒引当金に計上しております。
4. なお、破綻懸念先及び要管理先で与信額が一定額以上の大口債務者のうち、将来キャッシュフローを合理的に見積ることができる債権については、DCF法により引当金を算出しております。

□ 破産・更生債権及びこれらに準ずる債権
□ 危険債権
■ 要管理債権

(億円)



◆ 開示債権比率
■ 開示債権比率(引当金控除後)
▲ 開示債権比率(担保・保証・引当控除後)



(2) リスク管理債権

(単位:百万円、%)

	26年9月末			26年3月末	25年9月末
		26年3月末比	25年9月末比		
破綻先債権額	834	△25	181	859	653
延滞債権額	26,456	△2,761	△5,371	29,217	31,827
3カ月以上延滞債権額	313	9	53	304	260
貸出条件緩和債権額	20,329	△278	△497	20,607	20,826
合計	47,933	△3,056	△5,635	50,989	53,568
保全率	82.36	△0.43	△0.41	82.79	82.77

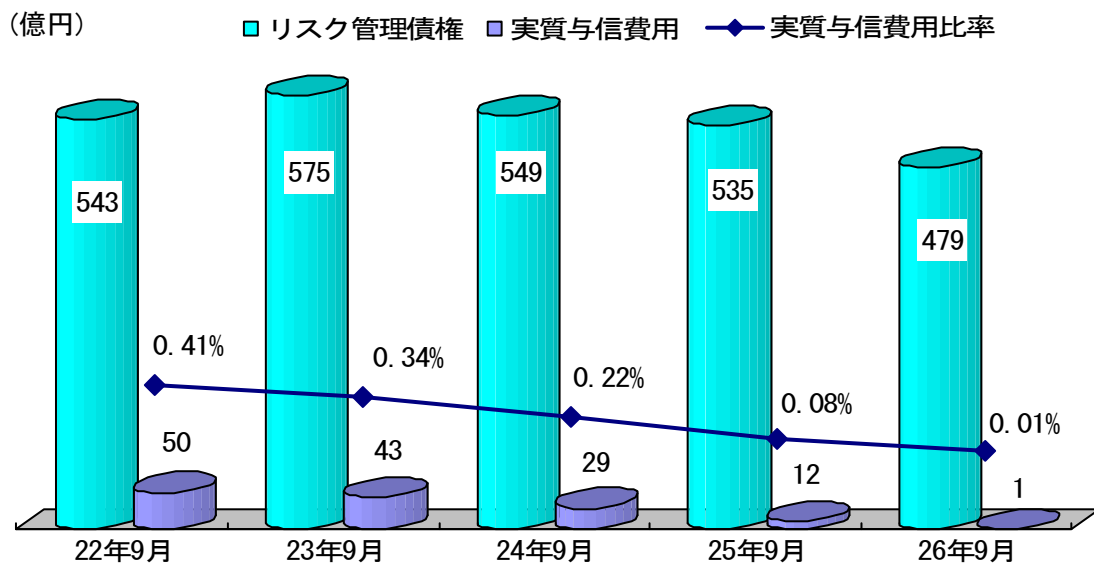
8. 与信費用の状況【単体】

(単位:百万円、%)

		26年9月末		25年9月末
			25年9月末比	
一般貸倒引当金繰入額	①	—	—	—
不良債権処理額	②	1,754	△704	2,458
貸出金償却		993	△433	1,426
個別貸倒引当金繰入額		—	—	—
延滞債権等売却損		870	△174	1,044
偶発損失引当金繰入額		△109	△98	△11
貸倒引当金戻入益	③	1,326	399	927
償却債権取立益	A	239	△91	330
与信費用	④(=①+②-③)	428	△1,102	1,530
実質与信費用	④-A	188	△1,012	1,200
貸出金平残		2,846,243	127,047	2,719,196
与信費用比率		0.03	△0.08	0.11
実質与信費用比率		0.01	△0.07	0.08

※与信費用比率=与信費用÷貸出金平残(年率換算)

※実質与信費用比率=実質与信費用÷貸出金平残(年率換算)



9. 配当の状況

- ・ 中間配当金は、株主の皆様への利益還元と当中間期の業績等を勘案し、
1株当たり8.5円とさせていただきます。
- また期末配当金につきましても、1株当たり8.5円とし、年間配当金は前年度と同様
1株当たり17円を予定しております。

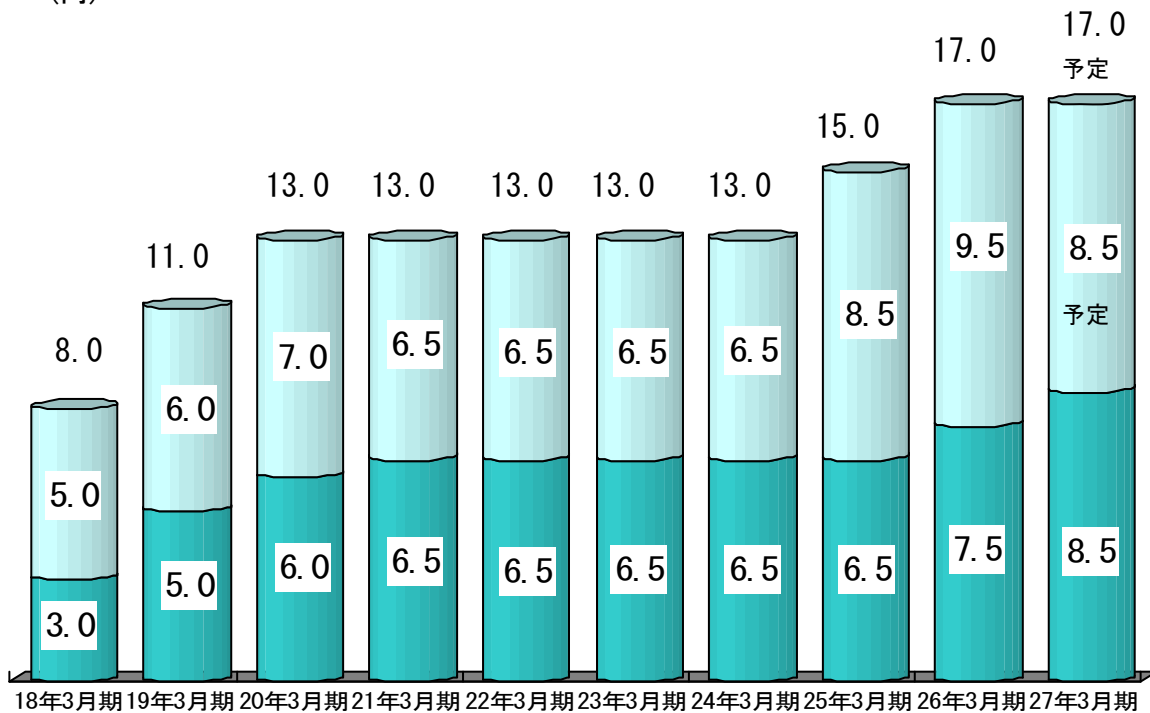
	27年3月期		26年3月期 (実績)
		26年3月期比	
1株当たり年間配当金	17円00銭	—	17円00銭
中間配当金	8円50銭	1円00銭	7円50銭

※ 1株当たり年間配当金は予定金額です。

□ 期末配当金

■ 中間配当金

(円)



Ⅱ. 平成27年3月期第2四半期決算の状況

1. 損益状況【単体】

(単位：百万円)

	26年9月期	25年9月期比	
		25年9月期	25年9月期
業務粗利益	47,915	3,230	44,685
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(47,827)	2,828	(44,999)
国内業務粗利益	47,655	3,273	44,382
(除く国債等債券損益)	(47,567)	2,872	(44,695)
資金利益	48,540	3,437	45,103
役務取引等利益	△973	△566	△407
その他業務利益	87	400	△313
うち国債等債券損益	(87)	400	(△313)
国際業務粗利益	259	△44	303
(除く国債等債券損益)	(259)	△44	(303)
資金利益	200	△40	240
役務取引等利益	12	1	11
その他業務利益	46	△5	51
うち国債等債券損益	(—)	(—)	(—)
経費(除く臨時処理分)	23,268	2,207	21,061
人件費	9,103	1,262	7,841
物件費	12,433	576	11,857
税金	1,731	369	1,362
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	24,646	1,022	23,624
(除く国債等債券損益)	24,559	621	23,938
一般貸倒引当金繰入額(注)	—	—	—
業務純益	24,646	1,022	23,624
うち国債等債券損益	87	400	△313
臨時損益	△785	744	△1,529
うち貸倒引当金戻入益(注)	1,326	399	927
うち償却債権取立益	239	△91	330
うち株式等損益(3勘定戻)	△2	△46	44
経常利益	23,860	1,766	22,094
特別損益	△605	△641	36
うち固定資産処分損益	△626	△574	△52
固定資産処分益	—	△33	33
固定資産処分損	626	541	85
税引前中間純利益	23,254	1,123	22,131
法人税、住民税及び事業税	7,885	480	7,405
法人税等調整額	388	△514	902
法人税等合計	8,273	△34	8,307
中間純利益	14,980	1,156	13,824

①一般貸倒引当金繰入額(注)	—	—	—
②不良債権処理額	1,754	△704	2,458
貸出金償却	993	△433	1,426
個別貸倒引当金繰入額(注)	—	—	—
延滞債権等売却損	870	△174	1,044
偶発損失引当金繰入額	△109	△98	△11
③貸倒引当金戻入益(注)	1,326	399	927
④与信費用(①+②-③)	428	△1,102	1,530
⑤償却債権取立益	239	△91	330
⑥実質与信費用(④-⑤)	188	△1,012	1,200

(注) 25年9月期ならびに26年9月期において、一般貸倒引当金の取崩額が個別貸倒引当金繰入額を上回り、貸倒引当金が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

損益状況【連結】

(単位：百万円)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
連結粗利益	51,086	3,817	47,269
資金利益	51,152	3,829	47,323
役務取引等利益	△512	△558	46
その他業務利益	446	546	△100
経費（除く臨時処理分）	24,729	2,334	22,395
実質与信費用	1,154	△936	2,090
株式等関係損益	△2	△24	22
持分法による投資損益	0	30	△30
その他	△576	△205	△371
経常利益	24,624	2,221	22,403
特別損益	△609	△664	55
税金等調整前中間純利益	24,015	1,557	22,458
法人税、住民税及び事業税	8,167	445	7,722
法人税等調整額	416	△434	850
法人税等合計	8,584	11	8,573
少数株主損益調整前中間純利益	15,430	1,545	13,885
少数株主利益	60	22	38
中間純利益	15,370	1,524	13,846

① 一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
② 不良債権処理額	2,493	△562	3,055
貸出金償却	1,588	△319	1,907
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
延滞債権等売却損	1,014	△146	1,160
偶発損失引当金繰入額	△109	△98	△11
③ 貸倒引当金戻入益	971	463	508
④ 与信費用（①+②-③）	1,522	△1,025	2,547
⑤ 償却債権取立益	367	△89	456
⑥ 実質与信費用（④-⑤）	1,154	△936	2,090

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	26,357	1,484	24,873
--------	--------	-------	--------

(注) 連結業務純益 = 連結粗利益 - 連結経費 - 連結一般貸倒引当金繰入額 (平成25年9月期なら
びに平成26年9月期は「-」)

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	8	—	8
持分法適用関連会社数	1	—	1

2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	26年9月期		25年9月期
		25年9月期比	
業務純益	24,646	1,022	23,624
職員一人当たり(千円)	15,261	459	14,802

3. 利ざや【単体】

(全店)

(単位：%)

		26年9月期		25年9月期
			25年9月期比	
(1) 資金運用利回	(A)	2.59	△0.20	2.79
(イ) 貸出金利回		3.44	0.11	3.33
(ロ) 有価証券利回		0.98	0.02	0.96
(2) 資金調達原価	(B)	1.32	0.04	1.28
(イ) 預金等利回		0.10	0.01	0.09
(3) 預貸金利ざや		2.11	0.07	2.04
(4) 総資金利ざや	(A)－(B)	1.26	△0.25	1.51

(国内)

(単位：%)

		26年9月期		25年9月期
			25年9月期比	
(1) 資金運用利回	(A)	2.60	△0.21	2.81
(イ) 貸出金利回		3.46	0.11	3.35
(ロ) 有価証券利回		0.95	0.03	0.92
(2) 資金調達原価	(B)	1.29	0.03	1.26
(イ) 預金等利回		0.09	0.00	0.09
(3) 預貸金利ざや		2.13	0.07	2.06
(4) 総資金利ざや	(A)－(B)	1.30	△0.25	1.55

4. ROA・ROE【単体】

(単位：%)

		26年9月期		25年9月期
			25年9月期比	
ROA	業務純益	1.21	△0.04	1.25
	中間純利益	0.73	0.00	0.73
ROE	業務純益	21.24	△1.29	22.53
	中間純利益	12.91	△0.27	13.18

5. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

		26年9月期		25年9月期
			25年9月期比	
国債等債券損益（5勘定戻）				
		87	400	△313
	売却益	9	8	1
	償還益	126	△145	271
	売却損	0	△177	177
	償還損	48	△361	409
	償却	—	—	—
株式等損益（3勘定戻）				
		△2	△46	44
	売却益	1	△43	44
	売却損	—	—	—
	償却	3	3	—

6. 自己資本比率（国内基準）

平成26年3月末より新基準にて、経過措置を適用し算出しております。

【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	26年3月末
	自己資本比率	11.53%	0.11%
自己資本（コア資本）	257,649	9,956	247,693
コア資本に係る基礎項目	257,726	9,934	247,792
コア資本に係る調整項目（△）	77	△21	98
リスクアセット等	2,234,482	67,205	2,167,277

【連結】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	26年3月末
	自己資本比率	11.62%	0.15%
自己資本（コア資本）	262,696	10,679	252,017
コア資本に係る基礎項目	265,040	10,593	254,447
コア資本に係る調整項目（△）	2,343	△86	2,429
リスクアセット等	2,260,016	64,453	2,195,563

<参考>平成25年9月末の開示内容(バーゼルⅡ)

	25年9月末	
	単体	連結
自己資本比率	11.17%	11.15%
自己資本	233,164	235,450
Tier I	220,674	222,809
Tier II	13,036	13,187
控除項目（△）	547	547
リスクアセット等	2,085,858	2,110,050

Ⅲ. 貸出金等の状況

資産内容の開示における各種基準の比較

【単体】

(平成26年9月末)

(単位：百万円)

開示基準別の分類・保全状況

自己査定結果(債務者区分別) 対象:貸出金等と信関連債権					金融再生法の開示基準 対象:要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債				リスク管理債権 対象:貸出金	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保・保証	引当額	保全率	区分	残高
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類						
破綻先 909 (362)	579	330	—	— (362)	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 7,518	4,891	2,626	100%	破綻先債権	834
実質破綻先 6,608 (2,264)	3,392	3,216	—	— (2,264)	危険債権 19,910	15,904	1,969	89.76%	延滞債権	26,456
破綻懸念先 19,910 (1,969)	10,057	7,816	2,037 (1,969)	—	要管理債権 20,642	11,036	3,192	68.92%	3カ月以上延滞債権	313
要 注 意 先	要管理先 31,064	1,425	29,638	—	小計 48,071	31,832	7,788	82.41%	貸出条件緩和債権	20,329
	要管理先以外の 要 注 意 先 205,759	39,820	165,939	—	正常債権 2,926,158				合計	47,933
正常先 2,709,926	2,709,926	—	—	—	合計 2,974,229					
合計 2,974,179 (4,595)	2,765,201	206,941	2,037 (1,969)	— (2,626)						

(注1) 貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

(注2) 自己査定結果(債務者区分別)における()内は分類額に対する引当額であります。

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却(26年9月末 単体:1,226百万円 連結:1,960百万円)実施後

未収利息不計上基準(自己査定の破綻懸念先、実質破綻先、破綻先に対する未収利息は全額不計上)

【単体】

(単位:百万円、%)

		26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	834	△25	181	859	653
	延滞債権額	26,456	△2,761	△5,371	29,217	31,827
	3カ月以上延滞債権額	313	9	53	304	260
	貸出条件緩和債権額	20,329	△278	△497	20,607	20,826
	合計	47,933	△3,056	△5,635	50,989	53,568

貸出金残高(末残)	2,954,255	74,170	147,666	2,880,085	2,806,589
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

貸出金残高比	破綻先債権額	0.02	0.00	0.00	0.02	0.02
	延滞債権額	0.89	△0.12	△0.24	1.01	1.13
	3カ月以上延滞債権額	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.68	△0.03	△0.06	0.71	0.74
	合計	1.62	△0.15	△0.28	1.77	1.90

【連結】

(単位:百万円、%)

		26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,174	△61	122	1,235	1,052
	延滞債権額	31,085	△2,676	△4,950	33,761	36,035
	3カ月以上延滞債権額	313	9	53	304	260
	貸出条件緩和債権額	20,329	△278	△497	20,607	20,826
	合計	52,902	△3,007	△5,273	55,909	58,175

貸出金残高(末残)	2,952,675	73,952	148,191	2,878,723	2,804,484
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

貸出金残高比	破綻先債権額	0.03	△0.01	0.00	0.04	0.03
	延滞債権額	1.05	△0.12	△0.23	1.17	1.28
	3カ月以上延滞債権額	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.68	△0.03	△0.06	0.71	0.74
	合計	1.79	△0.15	△0.28	1.94	2.07

2. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(単位：百万円、%)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権額 (A)	47,933	△3,056	△5,635	50,989	53,568
担保・保証等 (B)	31,811	△2,472	△3,793	34,283	35,604
貸倒引当金 (C)	7,670	△261	△1,066	7,931	8,736
引当率 (C/A)	16.00	0.45	△0.30	15.55	16.30
保全率 (B+C)/(A)	82.36	△0.43	△0.41	82.79	82.77

【連結】

(単位：百万円、%)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
リスク管理債権額 (A)	52,902	△3,007	△5,273	55,909	58,175
担保・保証等 (B)	33,289	△2,467	△3,515	35,756	36,804
貸倒引当金 (C)	9,782	△288	△1,037	10,070	10,819
引当率 (C/A)	18.49	0.48	△0.10	18.01	18.59
保全率 (B+C)/(A)	81.41	△0.55	△0.45	81.96	81.86

3. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	18,558	△2,045	△5,118	20,603	23,676
一般貸倒引当金	13,894	△1,538	△3,396	15,432	17,290
個別貸倒引当金	4,664	△506	△1,721	5,170	6,385
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

【連結】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
貸倒引当金	23,478	△1,932	△4,799	25,410	28,277
一般貸倒引当金	16,092	△1,346	△3,031	17,438	19,123
個別貸倒引当金	7,385	△586	△1,768	7,971	9,153
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

4. 金融再生法開示債権

【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,518	△714	△1,939	8,232	9,457
危険債権	19,910	△2,068	△3,257	21,978	23,167
要管理債権	20,642	△270	△445	20,912	21,087
合計 (A)	48,071	△3,051	△5,641	51,122	53,712

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円、%)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
保全額 (B)	39,620	△2,718	△4,864	42,338	44,484
貸倒引当金	7,788	△250	△1,074	8,038	8,862
特定債務者引当金	—	—	—	—	—
担保保証等	31,832	△2,468	△3,790	34,300	35,622
保全率 (B)/(A)	82.41	△0.40	△0.41	82.81	82.82

6. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,954,255	74,170	147,666	2,880,085	2,806,589
製造業	67,133	7,484	6,165	59,649	60,968
農業、林業	5,763	△448	△561	6,211	6,324
漁業	471	△3	△270	474	741
鉱業、採石業、砂利採取業	—	△20	△20	20	20
建設業	22,925	△2,683	△3,443	25,608	26,368
電気・ガス・熱供給・水道業	5,917	△930	△2,198	6,847	8,115
情報通信業	1,689	△73	△227	1,762	1,916
運輸業、郵便業	13,745	△32	△454	13,777	14,199
卸売業、小売業	49,173	△2,141	△1,834	51,314	51,007
金融業、保険業	81,286	5,447	12,485	75,839	68,801
不動産業、物品賃貸業	86,820	△2,154	△4,883	88,974	91,703
各種サービス業	45,538	△2,263	△7,165	47,801	52,703
国・地方公共団体	19,414	△8,096	△2,174	27,510	21,588
その他	2,554,371	80,082	152,235	2,474,289	2,402,136

②業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	47,933	△3,056	△5,635	50,989	53,568
製造業	7,627	△423	△509	8,050	8,136
農業、林業	—	—	—	—	—
漁業	33	33	△37	—	70
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	2,285	△367	△187	2,652	2,472
電気・ガス・熱供給・水道業	6	6	6	—	—
情報通信業	126	0	△16	126	142
運輸業、郵便業	377	3	△31	374	408
卸売業、小売業	6,166	△52	△554	6,218	6,720
金融業、保険業	—	—	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	6,834	△594	△621	7,428	7,455
各種サービス業	4,058	△387	△877	4,445	4,935
国・地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	20,416	△1,276	△2,811	21,692	23,227

③個人ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
個人ローン残高	2,549,748	79,226	150,872	2,470,522	2,398,876
住宅ローン残高	1,965,206	8,755	23,144	1,956,451	1,942,062
その他ローン残高	584,541	70,470	127,728	514,071	456,813

④中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
中小企業等貸出比率	95.80	0.03	0.05	95.77	95.75

7. 国別貸出状況等

①特定海外債権残高【単体】

該当ございません。

②アジア向け貸出金【単体】

該当ございません。

8. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

		26年9月	26年3月比	25年9月比	26年3月	25年9月
預金	(期末残高)	3,843,347	26,974	272,485	3,816,373	3,570,862
	(平均残高)	3,789,389	229,163	271,082	3,560,226	3,518,307
貸出金	(期末残高)	2,954,255	74,170	147,666	2,880,085	2,806,589
	(平均残高)	2,846,243	93,483	127,047	2,752,760	2,719,196

9. 店舗数

(単位：店)

	26年9月末	26年3月末比	25年9月末比	26年3月末	25年9月末
店舗数	130	—	2	130	128

IV. 時価のある有価証券の評価差額

1. 評価差額

【単体】

(単位：百万円)

	26年9月末				26年3月末				25年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
その他有価証券	64,339	19,388	20,451	1,062	63,339	15,936	17,177	1,240	75,499	16,258	17,727	1,469
株式	42,859	16,465	17,507	1,041	40,111	13,729	14,821	1,092	40,545	14,138	15,507	1,368
債券	2,530	44	44	0	2,749	47	48	0	18,253	65	74	8
その他	18,948	2,878	2,899	20	20,479	2,159	2,307	147	16,701	2,054	2,146	92

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 時価のある子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。
 3. 「評価差額」ならびに「含み損益」は、期末時点の時価と取得原価との差額を計上しております。
 4. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	26年9月末				26年3月末				25年9月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		含み益	含み損			含み益	含み損			含み益	含み損	
満期保有目的の債券	145,182	△342	—	342	145,224	△302	—	302	145,265	△292	3	295

【連結】

(単位：百万円)

	26年9月末				26年3月末				25年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
その他有価証券	65,323	20,152	21,214	1,062	64,237	16,612	17,852	1,240	76,293	16,830	18,300	1,469
株式	43,216	16,724	17,765	1,041	40,411	13,931	15,023	1,092	40,836	14,332	15,700	1,368
債券	2,530	44	44	0	2,749	47	48	0	18,253	65	74	8
その他	19,577	3,383	3,403	20	21,077	2,633	2,781	147	17,203	2,432	2,525	92

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 時価のある子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。
 3. 「評価差額」ならびに「含み損益」は、期末時点の時価と取得原価との差額を計上しております。
 4. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	26年9月末				26年3月末				25年9月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		含み益	含み損			含み益	含み損			含み益	含み損	
満期保有目的の債券	145,182	△342	—	342	145,224	△302	—	302	145,265	△292	3	295

V. 退職給付関連

1. 退職給付費用に関する事項

【単体】

(単位：百万円)

区 分	26年9月期	25年9月期
勤務費用	333	307
利息費用	153	196
期待運用収益	△307	△268
過去勤務債務の費用処理額	8	8
数理計算上の差異の費用処理額	△206	12
その他（臨時に支払った割増退職金等）	—	—
退職給付費用	△18	257

【連結】

(単位：百万円)

区 分	26年9月期	25年9月期
勤務費用	353	327
利息費用	153	196
期待運用収益	△307	△268
過去勤務債務の費用処理額	8	8
数理計算上の差異の費用処理額	△206	12
その他（臨時に支払った割増退職金等）	—	—
退職給付費用	0	276

(注) 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、一括して「勤務費用」に含めて計上しております。